

< 取り組み >

1 授業づくり

- (1) 各教科における「**活用力**」の捉え方について 研修
協議・確認

(別紙 一覧表)

- (2) 「活用力」の向上を目指す**授業の工夫**

授業実践 → **検討** ……この積み重ねによって

2・3学期の取り組み

- ① 「活用力の捉え方一覧」をもとに**共通して取り組むことを決めて**授業実践を進める。

- ・これらの学習活動を成り立たせるためには、**まず、基礎基本の習得**が必要
- ・**習得と活用の関連**を意識して取り組む

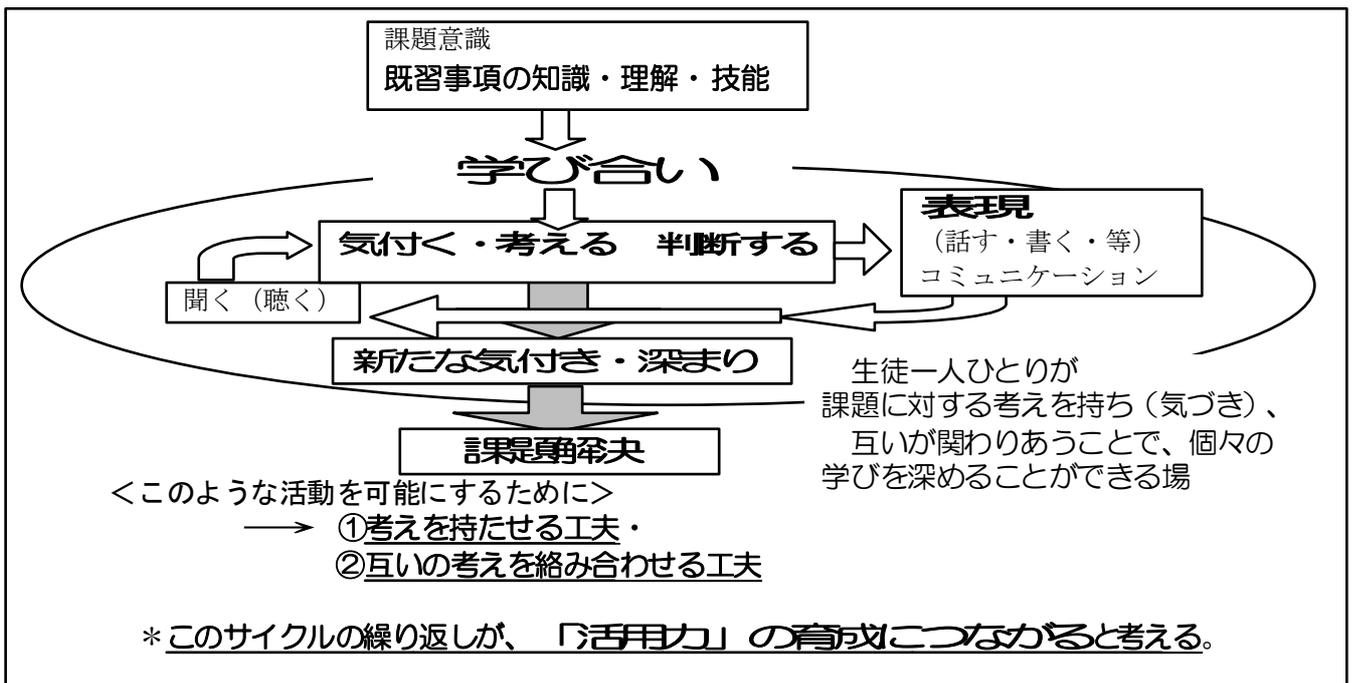
→ 研究授業では指導案に表れるように

- ② 「活用力」の向上をめざす取り組みとして

- ・課題解決型の授業
- ・「学び合い」を意識した授業にとりくむ。

「**学び合いの場** (思考・判断・表現を鍛える場となる)」を生かす効果的な授業パターンを追求する。 → 分科会で 情報交換、協議。

いくつかのパターンを提示して、授業実践につなげる。



○ 教科内授業研究

- * 目的…これまでの研究授業で指導を受けたことやわかったことをもとに、ステップアップを図る。
- * 期間…11月～1月中 各教科で都合のよい日を設定
- * 各教科少なくとも1人以上研究授業を行う。
- * 同じ教科の人は全員参観 (時間がある人は自由に参観) → 検討会
- * 事前に教科部会を設定して指導案を検討する。
(学習活動内容や指導の流れ、指導のポイントを研究テーマに沿って検討)
- * 全体会で、授業のポイント・教科での整理会の概要を報告する。→共通理解

2 基本的な学習ルールの徹底 ・ 学習習慣の定着

(1) 学習規律を身につけるための具体的取り組み

① 「学習強化期間」

(チャイム着・挨拶・返事・姿勢・忘れ物をしない 家庭学習時間 等)

- * 事前指導
- * 実施
- * 振り返り
- * 振り返り結果をうけて、対策提案
- * 対策 (例)

・チャイム着 チャイム学
・「一歩」を家で見る。

連絡黒板の改訂

・・・連絡ノートの様式にあわせ、学習内容や宿題、提出物の連絡を
確実に行えるように

・姿勢 教科担 → 学担

② プログラム委員会、生徒指導部、生活委員会等と連携

(2) 学習習慣を身につける取り組み

① 学習時間のアンケート分析

- * 平均学習時間
- * 取り組みの様子 (宿題・家庭学習)
- * グラフ化と啓発活動 (掲示・集会での話し)

② 学習内容の連絡の徹底

- * 連絡黒板、「一歩」の活用

(3) 「聴き上手」「話し上手」をめざす取り組み (今後)

① 安心して話ができる学習集団づくり

- ◇ 日頃の学級活動でできること (HRの活用)
- ◇ 学活の時間でできること (エンカウンター 等)

3 調査・分析

(1) 基礎学力調査の分析・対策

- ① 各教科で
- ② 調査分析分科会で、生活調査の項目について